

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成26年1月30日(2014.1.30)

【公表番号】特表2013-515837(P2013-515837A)

【公表日】平成25年5月9日(2013.5.9)

【年通号数】公開・登録公報2013-022

【出願番号】特願2012-547093(P2012-547093)

【国際特許分類】

C 08 G 65/08 (2006.01)

C 08 G 18/48 (2006.01)

C 08 G 101/00 (2006.01)

【F I】

C 08 G 65/08

C 08 G 18/48 F

C 08 G 101/00

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月6日(2013.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各々のヒドロキシル当量が1700～2200でありかつ少なくとも70%の第一級ヒドロキシル基を含む、エチレンオキシドでキャップされたポリプロピレンオキシドの混合物であって、前記エチレンオキシドでキャップされたポリプロピレンオキシドの5～80質量%は公称で二官能価であり、前記エチレンオキシドでキャップされたポリプロピレンオキシドの1～5質量%は公称官能価が6～8であり、そして前記エチレンオキシドでキャップされたポリプロピレンオキシドの10～94.5質量%は公称で三官能価である、混合物。

【請求項2】

二官能価のエチレンオキシドでキャップされたポリプロピレンオキシドはエチレンオキシドでキャップされたポリプロピレンオキシドの合計質量の5～15質量%を構成する、請求項1に記載の混合物。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の混合物をポリイソシアネートとブレンドすること、及び、得られたブレンドを、該ブレンドが弾力性のある可とう性ポリウレタンフォームを形成するように硬化するのに十分な条件に付すことを含む、ポリウレタンの調製方法。

【請求項4】

請求項1又は2に記載の混合物を、ポリイソシアネートと、エチレンオキシドでキャップされたポリプロピレンオキシド100質量部当たり4～7質量部の水の存在下にブレンドすること、及び、得られたブレンドを、該ブレンドが弾力性のある可とう性ポリウレタンフォームを形成するように硬化するのに十分な条件に付すことを含む、弾力性のある可とう性ポリウレタンフォームの調製方法。

【請求項5】

前記弾力性のある可とう性ポリウレタンフォームは密度が3.6～4.2kg/m<sup>3</sup>である、請求項4に記載の方法。